



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 24

2012.1.11 (No.2668)

第2560地区ガバナー／石本 隆太郎  
 会 長／山田 富義  
 会長エレクト／杉山 幸英 (クラブ奉仕A)  
 副 会 長／丸山 行彦 (クラブ奉仕B)  
 幹 事／小出子恵出  
 S A A／伊藤 寛一  
 会 計／明田川 賢一

例会日／毎週水曜日 12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

- 本日の出席会員数:57名中44名
- 先々週出席率:94.44%

【ゲスト】

・三条市長 國定勇人 様

【ヴィジター】

三条南RCより  
 ・鈴木園彦さん

【先週のメークアップ】

[12.29] 三条東RCへ  
 ・菊池 渉さん、丸山行彦さん  
 ・中村和彦さん、五十嵐浩さん  
 ・高橋尚樹さん、藤田紘一さん  
 ・熊倉昌平さん、田中 仁さん  
 (8名)

[12.29] 燕RCへ  
 ・加藤紋次郎さん、田中 仁さん



「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」  
 2011～2012年度国際ロータリーのテーマ



## 会長挨拶

山田富義 会長



皆様、明けましておめでとうございます、今年も宜しくお願いします。

今年は雪も少なく平穏な正月を過ごす事ができました。皆様は如何お過ごしでしたか。

本日は、國定三条市長をお迎えしての新春例会でございます。市長の新年は、元旦マラソンから始まり、御用始め、消防出初式、そして平成24年度の予算編成作業の真っ只中、大変お忙しい中ようこそおいで下さいました。卓話宜しくお願い申し上げます。

又、三条南ロータリークラブ鈴木会長ようこそおいで下さいました。ごゆっくりお過ごし下さい。鈴木会長さんには、市内4クラブの幹事クラブの会長として、お世話になっております。後半宜しくお願い致します。

前期では、8月28日(日)三条市内4クラブ合同社会奉仕事業『がんばろう日本!! 復興応援チャリティ寄席とフルートコンサート』を開催、後半は3月26日(月)三条市内4クラブ合同例会を開催します。テーマは『認知症の正しい理解と対応の仕方』について講演していただきます。

会場は「VIP」で 12:00～昼食 12:30～講演になります。

## 1. 三条市の介護認定状況（H23年4月1日現在）

- ・人口 104,048人
- ・高齢者人口（65歳以上） 26,461人
- ・高齢化率（高齢者人口／人口） 25.4%（全国平均23%）
- ・要介護認定者数 4,474人  
（人口に対して4.3%）

※認知症の症状がある人数 約2,900人

- ・65歳以上は10人に1人（10%）
- ・85歳以上は5人に2人（40%）
- ・40～65歳では64人

## 2. 認知症予防の取り組みについては、4クラブ合同 例会（講演会）に出席して下さい。

新年早々、認知症予備軍として寂しい話になりましたが、今年一年『明るく』『楽しく』『元気良く』、ボランティア活動に参加しましょう。宜しくお願いします。

# 幹事報告

## 小出子恵出 幹事

◎いからしの里より「クリスマスプレゼントの御礼」

◎次週18日（水）の例会場は「VIP」です。お間違えないようご出席お願い致します。

# ニコニコBOX

鈴木園彦さん（三条南RC 会長）

明けましておめでとう御座います。  
今年もよろしくお願い申し上げます。

山田富義さん

明けましておめでとうございます。  
今年も宜しくお願いします。  
國定三条市長様、卓話宜しくお願いします。

高橋 司さん

明けましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願い致します。  
國定三条市長様、卓話ありがとうございます。

杉山幸英さん

明けまして御目出とう御座居ます。  
本年もよろしくお願い申し上げます。  
賀状を差し上げませんでしたので、60人×80円をニコニコに。  
國定市長様、卓話有難う御座居ます。

熊倉昌平さん

國定市長様を歓迎申し上げますと共に、今年も一層のご活躍をお祈り致します。

樺山 仁さん

明けましておめでとうございます。  
例年になく雪の多い一月です。今年こそ心配事がない年でありたいと願っております。  
本日の國定市長様の元気なお話しが楽しみです。  
よろしくお祈り致します。

成田秀雄さん

新年おめでとうございます。  
今年が平和で幸多き一年となりますように。  
國定市長様、卓話ありがとうございます。

菊池 渉さん

新年おめでとうございます。  
大雪にならなければ…と願っています。

野崎喜一郎さん

新年おめでとうございます。  
今年も充実した一年であることを期待しています。

関川 博さん

あけましておめでとうございます。  
皆様のお元気な笑顔に出会えて、すてきなスタートです。

中村和彦さん

市長様の卓話、楽しみにしています。  
今年もRCにとって、よい年でありますように。

川瀬康裕さん

あけましておめでとうございます。  
良い年でありますように。  
國定市長様、卓話ありがとうございます。

渡辺勝利さん、高橋尚樹さん、熊倉博之さん  
近藤雄介さん、若槻八十彦さん、明田川賢一さん

あけましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願い申し上げます。

小出子恵出さん、齋藤弘文さん、会田二郎さん、  
五十嵐昭一さん、外山雅也さん、齋藤真澄さん、  
佐野勝榮さん、丸山行彦さん、伊藤寛一さん、  
小越憲泰さん、渋谷健一さん、石橋育於さん、  
五十嵐晋三さん、船越正夫さん、平原信行さん、  
渡辺良一さん、木村文夫さん、松永一義さん

あけましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願い申し上げます。  
國定市長様、本日は卓話ありがとうございます。

1月11日分 ￥62,000  
今年度累計 ￥742,000



## 卓 話 新春例会

### 「三条市の防災対策について」



三条市長 國定勇人 様

皆様、あけましておめでとうございます。只今ご紹介頂きました三条市長の國定でございます。

毎年一月のこの時期に、皆様方からお招き頂き、私どもの取り組みについて披露する機会を頂いております。そうした、温かいご高配に対しまして本当に感謝を申し上げたいと思います。

昨年は、とても大変な一年であったわけですが、今日のお話、30分間お時間を頂く中で、昨年私どもの町を襲った水害からの脱却についての全体の方向感についてお話をさせて頂ければと思っています。

今般、ロータリークラブさんにお邪魔させて頂き、新たに一つ発見したことがございます。お誕生日のお祝いということで、会長さんからお品が渡される前に自ら進んでボックスの中へ、おそらく、それと同等の日本円が投入されている姿を見て、さすが、ロータリークラブというのは、全て自己完結型の全て自らへの奉仕にもつながっていくのだと、こういうことを実践されているのだと感心し、ロータリーのひとつの特性を見出したところでございます。

また、先ほど山田会長さんからお話がありましたように、今年3月には三条市内の各ロータリークラブさんの合同例会ということで、認知症のシンポジウムを開催頂くわけです。私どもからすれば、大変ありがたいお心遣いだと感じております。関係する皆様方の温かいご配慮に対しまして、厚く御礼申し上げます。

さて、防災対策のお話をさせて頂く前に、先週から本格的な来年度の予算編成作業の最終工程に入っているところでございまして、私もこの講話を挟んで午前午後を市役所に缶詰状態で、おそらくあと2週間くらいはこの状態が続くと思われませんが、財政も厳しく、なかなか皆様方のご期待に全て沿うわけにはいきませんが、苦しい中でもご理解を頂きながら、毎年度、毎年度、予算編成に務めてきたところであります。行財政改革を進めていく中で少しずつではありますが、貯金を蓄えてきたところでございます。

この貯金を行政用語でいいますと、財政調整基金といいます。7月29日発災当時の財政調整基金が30

億円程度積み立ててありましたが、三条市の一般会計予算が大体500億円前後ですので、公共体と家庭とでは単純に比較はできませんが、一般家計に置き換えれば月々50万円の月給に対して、わずか3万円の貯金しか持っていないことになります。行政というか公共的な使い道というのは、平常時はコツコツと貯めておいて、飢饉であったり、戦争であったり、そういう中で被災をされて困っている方々の為に米蔵を開けることが使命であり、昨年の7.29水害の時にも国や県の支援を頂くよりも前に、まず私たちの中で何ができるのかと、こういうことで約1ヶ月の間で30億円のうち、20億円を使い果たしてしまったところでございます。残りの10億円というのも今年の大雪で、一斉除雪1回で数千万円一気に飛んでしまうということですので、10億円というのは非常におぼつかない数字であるわけです。そういう意味では、例年以上に、本当の意味で厳しい状況の中ではありますが、やはり明日の三条市を作るためには、それこそ、大胆にお金を使いながら、尚且つ、10億円というラインをしっかりと守れるよう、予算編成に今取り組んでいるところでございます。

私どもがおぼつかない分、三条の産業界が震災後、非常に力を入れて頑張ってもらってそれが実際の成果として現れてきていて、三条市全体として申し上げると大変ありがたいことに、経済情勢全般から見るとかなり強気と言ってもいいくらいの状況になりかけているところでございます。とりわけ、震災からの復興という中で、しっかりと受注をして生産品を納入することが、東北の被災3県に対する復興の手助けになるということです。企業の皆様方が知恵と工夫と情熱を傾けて、昨年一生懸命取り組んで頂いた結果、経済指標の中で景気動向では最後に現れてくるであろう雇用関係についても、まだまだ大台には乗ってはおりませんが、一時期のリーマンショック以降、ハローワーク三条管内で有効求人倍率が0.36倍まで落ち込みましたが、震災以降急激な回復をみまして、10月期においては、0.9倍まで戻るところに至っているわけでございます。全国、あるいは新潟県全体が0.5倍、0.6倍と、こうところを行ったり来たりしているような状況を考えますれば、三条市の産業のタフネス、非常に力強い基盤が結果としてこの町に活力を再び見出そうとしていると、こういうふうに思っております。

昨日のNHKのニュースでも、あるいは昨年、商工会議所さんと一緒にさせて頂いた金融講演会でも、日銀の新潟支店長さんがいみじくもおっしゃられま

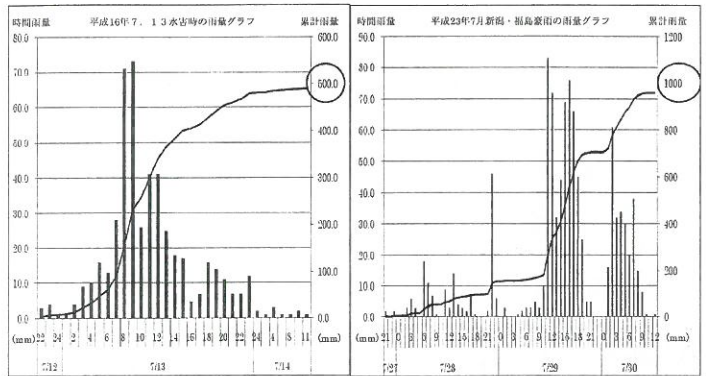


したけれども、今年の不安要素というのは欧州経済を除けば実はあまりなく、どちらかというとプラス要素ばかりが続いていくものだというわけで、そのようなことをトータルとして考えると今年の後半は必ずよくなりますと、景気動向、景気判断に対して慎重な言葉遣いをしなければいけない方が非常に力強いご意見を披露されている、しかも、公の席でご披露されるとこういうことは、かなり固い線でもそういう状況になるということでもありますので、日本経済は私も間違いなくこの一年は昨年との反動もあり、また消費者心理、あるいは消費者という言葉から離れたとしても、昨年いろんな思いで苦しい経験をしたわが国民が自分たちの心の均衡を保つべく、やはり、今年という年は昨年のマイナスを挽回すべく、色々な意味で積極果敢な行動に、おそらく日本国中で出てくるであろうと思いますし、そうした好機を私たち三条市も含め、産業界の皆様方と手を携えながら、その好機を見逃すことなく、この一年はしっかりと足場を築いていかなければいけないと思っていますところでございます。

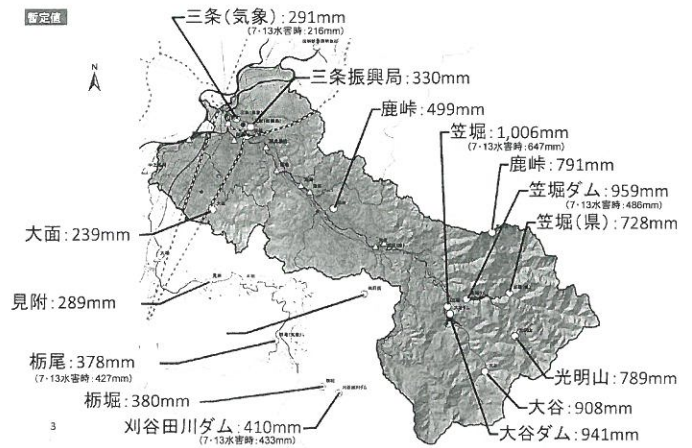
我々行政として、やはり今年、一丁目一番地の課題として取り組んでいかなければいけないことが「三条市の防災対策」についてです。

改めて、昨年の7.29水害について振り返るところから始めさせていただきたいと思っております。これは、もう色々なところでも申し上げて参りましたし、あるいは、新聞、テレビ等々で何度も何度も取り上げられているところでございます。皆様方の中にも、もう十分おわかりの通りだと思いますが、復習がてら、お聞き頂ければと思います。

平成16年7.13水害時の雨量と平成23年7月新潟・福島豪雨の雨量との比較  
【笠堀ダム観測所】



### 三条市内雨量観測所の累加雨量



今年は五十嵐川水系について、より多くの皆様方からご理解とご協力を頂きながら、より詳細なところまで検証し、今度こそ本当に枕を高くして眠ることができる町に生まれ変わらせていきたいと思っています。新年早々、あまり縁起のいい話ではございませんでしたが、結果としては嬉しいことに繋がっていると思っています。本日ご参会の皆様方にとって、この一年が本当に素晴らしい年になりますことを心から念じさせて頂きながら、ロータリークラブさんがますます活躍をされまして三条市に昨年に続き金銭面を含め温かいご支援を切にお願い申し上げまして、講話とさせていただきます。

次週例会 1月25日 「ロータリー理解推進月間」  
R情報委員長 中村和彦 会員 **於 VIP**

次々週例会 2月1日 「会員卓話」 菊池 渉 会員  
**於 三条信用金庫本店 3階 (通常例会場)**

